



小野田中は、学校・家庭・地域で、子どもの成長を応援します！

小中だより

山陽小野田市立小野田中学校

TEL 83-2576

FAX 83-2838

No.9 令和元年11月22日(金)

Webページ <http://www.edu.cty-so.jp/onoda-jhs/>

《校訓》 健康明朗 清潔整頓 勤勉努力 自主自律
《学校教育目標》 「地域とともに、心豊かで学び続ける生徒の育成」

令和元年度全国学力・学習状況調査(学力編)

令和元年度の「全国学力・学習状況調査」が、4月18日(木)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として実施され、その結果が学校に届けられました。そこで、本調査の目的や分析結果と今後の学力向上の取り組み等をご家庭にお知らせします。

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

昨年度までは国語A・Bと数学A・Bというように、A問題(知識)とB問題(活用)に分かれて実施されてきました。今年度からは、国語と数学にまとめられました。また、英語が初めて実施され、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の調査と、パソコンを使用した「話すこと」の調査が行われました。

出題範囲は、前学年までに含まれる学習内容を原則とし、下記の①と②を一体的に問われました。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(1) 山口県全体の結果

- 小学校では、国語は全国平均を上回り、算数は全国平均と同程度でした。
- 中学校では、国語・数学は全国平均を上回りましたが、英語(「話すこと」調査を除く)は全国平均を下回りました。

(2) 小野田中学校の結果(全国・山口県の平均正答率との比較)

都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供されます。

教科	小野田中学校の状況	山口県	全国
国語	全国平均を <u>やや下回っている</u>	74%	72.8%
数学	全国平均を <u>やや下回っている</u>	61%	59.8%
英語	山口県平均を <u>やや下回っている</u>	55%	56.0%

(3) 本校の生徒の傾向

よい傾向がみられた問題(◎)：山口県や全国を上回っている
課題がある問題(▲)：山口県や全国を下回っている

【国語】

【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。
- ◎ 相手に分かりやすく伝わる表現について理解する。

【課題がある問題】

- ▲ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ。
- ▲ 語句の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。

〈国語の状況〉

文章を正確に読み取って情報を整理することや、相手に分かりやすく伝わる表現の仕方について理解できている生徒が多いと言えます。しかし、新聞のリード文が果たす役割についての理解や、封筒の書き方や語句の一部を省いた表現についての伝統的な言語文化に関わる内容についての正答率は低いです。また、答えが一つではない問題について自分の考えを表現することが苦手なのが課題です。授業では、話したことをただ理解するだけでなく、自らアイディアを生み出し表現するような活動を取り入れていきます。

【数学】

〔よい傾向がみられた問題〕

- ◎ 数の集合と四則計算の可能性について理解している。
- ◎ グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。

〔課題がある問題〕

- ▲ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
- ▲ 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる。

〈数学の状況〉

数の範囲を正の数と負の数にまで拡張し、四則計算の結果の特徴について、数の集合と関連付けて理解できています。また、一次関数について表や式、グラフを相互に関連付けて理解することも山口県や全国と比べて高いと言えます。しかし、関数や資料の活用において、問題解決の方法や判断の理由を数学的に説明することに課題があると共に、式変形の目的を理解していない生徒が多いことが課題です。授業では、問題解決の方法を数学的に説明する活動を充実させたいと思います。また、反比例の表から式を書けない生徒が半数いたこともあり、基礎基本を見直していきます。

【英語】

〔よい傾向がみられた問題〕

聞くこと・読むこと・書くこと

- ◎ 語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる。
- ◎ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。

話すこと

- ◎ 与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。

〔課題がある問題〕

聞くこと・読むこと・書くこと

- ▲ 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。
- ▲ 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。

話すこと

- ▲ 基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる。

〈英語の状況〉

英語を聞いたり読んだりして情報の詳細を理解できている生徒が多く、与えられたテーマについて30秒で話すことなどの正答率は全国平均を上回りました。しかし、与えられた情報に基づいて英文を書くことや、質問に対して即興で正しく応答することに課題が見られます。また、「書くこと」の分野で3人称単数の現在形の動詞を間違える生徒が多く、基本的な単語や文法などの知識を活用することにも課題があります。授業では、基礎の習得に重点を置くとともに、正答率が低い「書くこと」「話すこと」の言語活動の充実、自ら表現する活動を取り入れていきます。

次号は、生徒質問紙の結果についてお知らせしたいと思います。生徒質問紙は、生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・家庭や地域での生活の状況に関する調査です。